

2022年室内環境学会学術大会報告

大会長 萬羽郁子（東京学芸大学）

2022年室内環境学会学術大会は、2022年12月1日（木）・2日（金）に、江戸川区総合文化センターで開催されました。大会中には、研究発表（口頭・ポスター発表）、分科会セミナー、総会、学生懇談会、国際シンポジウム、企業機器展示、メーカープレゼンテーション、ランチョンセミナーが行われました。本大会では3年振りにポスター発表を実施し、発表・討論は会場を中心としてその様子をオンラインで配信する形で開催しました。ポスター発表60件、口頭発表63件の研究発表が行われ、活発な議論が展開されました。オンライン参加の方を含め353名の方にご参加頂き、機器展示・広告・ランチョンセミナーには計26社のご協力を頂きました。

国際シンポジウム「Prospects for Indoor Environmental Research in Asian Countries」では、Dr. Kwang-Chul NOH (Airlab, Inc., Korea), Prof. Hsiu-Ling CHEN (National Cheng Kung University, Taiwan), 山口一教授（大同大学, 日本), Prof. Nyi Nyi NAING (Universiti Sultan Zainal Abidin, Malaysia) の4名の方々に各国の室内環境研究に関する最新動向についてご講演を賜り、非常に有意義なシンポジウムとなりました。また、分科会セミナーは、環境過敏症分科会により「Withコロナ時代に環境過敏症にならないために出来ることは？—マルチ異分野の研究者からの提言—」というテーマで開催され、多岐に渡る話題提供を頂きました。

残念ながら今年度も懇親会は開催することができませんでしたが、学術大会でのテーマである「室内環境の未来をつむぐ」に込めました想いとして、会場にて皆さまの研究交流がはずみ、本学術大会がそれぞれの研究テーマや本学会の未来をつむぐきっかけとなっていれば嬉しく思います。ご講演・ご参加頂いた皆様、機器展示・広告・ランチョンセミナーにご協力頂きました皆様、理事会、学会事務局、そして大会実行委員会の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

2023年室内環境学会学術大会は、2023年11月30日（木）から12月2日（土）（予定）に、沖縄県市町村自治会館で開催予定です。また皆様とお目にかかれることを楽しみにしております。



国際シンポジウム演者・司会者



研究発表の様子（B会場）



ポスター発表・機器展示会場の様子（左：展示室、中・右：研修室ロビー）